

佐久市移住促進プラン 2014

平成 26(2014)年 2月 17日
佐久市経済部 観光交流推進課 0267-62-3283

資料 6-1

本格的な人口減少社会を迎える中、交流人口の創出は地域活性化をもたらします。佐久市に来訪し、滞在し、そして居住していただくため、「佐久市交流人口創出基本計画」に基づいた移住・定住促進事業を行います。

1 信州佐久田舎暮らし支援センター

H26 当初予算額
1,140 万円

空き家情報や、就労・就農情報、土地や暮らし・観光情報などを共有し、ワンストップ相談サービスを提供します。



相談・支援



佐久市空き家バンク	移住希望者等に市内戸建て空き家物件情報を提供し、現地案内に対応
移住セミナー	主に首都圏において、セミナー・相談会を実施
移住施策推進体制	移住交流推進員(都内駐在)と、移住交流相談員(市内での相談対応)を配置

since 2013

3 移住体験住宅

H26 当初予算額
248 万円

移住希望者に、農業体験や空き家バンクの物件見学等を通じて、佐久市での暮らしを体験してもらいます。

利用料	無料
利用期間	連続した 7 日または 14 日
施設に整備されているもの	冷蔵庫、洗濯機など基本的な家電製品
利用者が用意するもの	寝具・洗面や洗濯、風呂の用具・食材等消耗品類
利用申請	事前予約制



since 2014

4 移住促進サポートプラン (佐久市移住促進住宅取得費等補助金)

H26 当初予算額
1,840 万円

さらなる移住促進のため、新規に補助金を交付します。

事業期間	平成 26 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで の 3 年間	
補助内容	住宅の新築費用または新築住宅の購入費用の 1/2 以内	限度額 50 万円
	中古住宅の購入費用の 1/2 以内	限度額 20 万円
	佐久市空き家バンクに登録されていた住宅を購入した場合	10 万円
	中古住宅の改修費用の 1/2 以内 (市内事業者による施工に限る)	限度額 10 万円
	中学生以下の扶養する子と同居する場合	10 万円 (子の人数に依らず一律)
加算	新幹線通勤定期券を佐久平駅で購入した者で、通勤手当額を控除した額の 1/2 の額 (住宅取得補助金の実績報告書を提出または住民基本台帳に登録された日のいずれか早い日の属する月から 36 ヶ月間に限る)	限度額 1 人あたり 2.5 万円/月 (人数・着駅に依らない。申請者と世帯構成員に限る)

【補助対象者 主な条件】
平成 26 年 4 月 1 日以降 佐久市に転入し住民基本台帳に登録された方で、その転入の日から過去 5 年以内に佐久広域市町村の住民基本台帳に登録されたことがない方

市内事業者の
利用を促進!

子育て世代の
移住を支援!

移住後の
新幹線通勤を
支援!

2 JR 東日本×長野県×佐久市 連携移住促進事業

「交流人口の創出」をキーワードに掲げる 3 者が連携して移住・交流促進に取り組んでいます。JR 東日本「大人の休日倶楽部」会員を対象に、都内でのセミナーや、移住お試しツアーを実施しています。

JR 東日本
全国初の
先進事例!

H26 当初予算額
70 万円

25 年度中、この事業に参加した 2 世帯が「空き家バンク」を利用して移住!!

【移住お試しツアー】

実際に佐久へ足を運んでいただき、市内見学、農作業体験、空き家バンク登録物件の見学、先輩移住者との交流などを行います。



since 2013

新築



新築物件の取得
最高 50 万円

中古



中古物件購入
(土地代含)
最高 20 万円



空き家バンク
登録物件の場合
一律 10 万円



物件の改修
最高 10 万円



中学生以下の
扶養する子が
同居する場合
人数によらず
一律 10 万円



新幹線通勤
一人あたり
最高 30 万円/年
(最長 3 年間:
最高 90 万円)

= 150 万円

交付額

= 140 万円

since 2014